

# グループホーム やまだ桜の郷

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		今よりさらに、地域の人と入居者が深く接することが出来るようにスタッフ間で取り組んで行く。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		今よりさらに、地域の人と入居者が深く接することが出来るようにスタッフ間で取り組んで行く。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		出来る限りではなく、全部参加出来る体制を作っていく。

## グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ミーティングの際には毎回のように話し合っている。例として、近所の方と話したときなど私達に何か出来る事はないか、など聞き出来る事は実施している。		ミーティングの際には毎回のように話し合っているが、今よりさらに何が出来るかを追求していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自施設の理念・入居者様の環境などを整え職員一人ひとりが指針としての評価を受け止め実施している。		第3者的に自施設を評価すれば又違う視点で見えてくる物があると思うのでその点を今よりさらに取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	同業者・家族様・市役所の方とは個別にて話し合いをしている。		今個別にて話し合いをしている事を全体で出来るように取り組んでいきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	活発に機会を作って連携を生かしていく取り組みを実施している。		今よりさらに情報収集をし、より良いサービス・質の向上を目指し取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今現在では、利用が必要な方はいませんが、職員間で制度の理解をミーティングの際、学習し実施している。		主任会議やミーティングなどで学習し職員全員が周知出来るように取り組んでいる。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングの学習会で取り上げたり、新聞記事の検討などをして実施している。		細心の注意を払って入所者様に対応しそのような事が起こらないように取り組んでいる。

グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約実行時には記載事項を口頭と書面にて説明を行い実施している。</p>		<p>施設側と入居者様側とで各々一部ずつ契約書を保存し、記載内容をすぐに確認が出来るように取り組んでいる。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苑内入口の窓口上に意見箱を設置したり、入居者様・面会者様との会話などで出た意見などは迅速に対応し実施している。</p>		<p>入居者様や家族様からの苦情や意見には、誠心誠意をもって納得されるようにきちんとした責任を持ち事後処理・報告まで行うよう取り組んでいる。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>支払日・面会日などに各々の入居者様の記録開示を行い実施しているし、面会にあまりこられない方に対しては、電話や手紙の送付などをし送付をし実施している。</p>		<p>いつでも、何時でも家族への報告・連絡などはこまめに行うように取り組んでいる。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>問題が出た時点でミーティングや会議にかけスムーズな解決を行っている。</p>		<p>職員間での問題解決が困難な事例の時は会議にかけより良い展開が出来るよう取り組んでいる。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は職員一人ひとりと個別面談を行い広く職員の意見・提案を聞く場を提供し実施している。</p>		<p>職員より出た意見・提案の評価が今以上出来るように取り組んでいく。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員調整については十分な確保を行って実施している。</p>		<p>入居者様や家族様の要望や安全に楽しく暮らしていけるように人材確保・シフト調整などとして取り組んでいる。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職の場合は仕方ないが、入居者様が疑問や不安にならないように職員は両ユニットに顔を出すようにしているし、施設のイベントがあるときは互いの入居者様と関わりあえるようにして実施している。</p>		

グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>性別や年齢など関係なく面接をし、自施設にとって良いかたを採用している。また、職員が生き生きと能力を發揮出来るように個人面談や勉強会など参加し実施している。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>随時問題点を検討し、人権を尊重出来るよう勉強会やミーティングなどして実施している。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成については、自己目標を設定し日々の業務に努力しているし、他の施設との勉強会などに出てトレーニングを重ね実施している。</p>		他の施設との勉強会や出版物・本などを使い取り組んでいる。
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との交流する機会は日時決定してないが、月一回の勉強会などで対応している。</p>		同業者同士の連絡などは密に行い互いのサービスの質の向上に努力しているが、相互訪問などに取り組んでいきたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>問題を抱えた職員には個別に対談し、解決に向けての取り組みを実施している。</p>		

## グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の職員の目標を上げてもらい、向上心をもって資格の取得や地域の学習会参加を勧め実施している。		職員一人ひとりに不足している部分をピックアップして行き、改善できるように取り組んでいきたい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者が抱えている諸事情をしっかりと把握し、そして、話して頂ける雰囲気作りや場所の提供をし受容・傾聴することを実施している。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の困っている事、不安な事、求めていることを把握するため話して頂く為に場所の提供や雰囲気づくりをして実施している。		今よりさらに良い雰囲気づくりが出来るよう取り組んでいきたい。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	押しつけにならず、本当に必要とされている事を家族様・入居者様と共にサービスの確認を行い実施している。		全てにおいて、満足・達成が出来るよう取り組んでいきたい。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する前に、何度か訪問してもらい場の雰囲気に慣れてもらう。又本来の生活をあるがままに受容し少しずつ取り入れ不都合がないように、家族様と共に相談しながら実施している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様の持ち得た残存能力や知恵を用いて共に支え合う介護に重点をおき対応している。		共有・共感を持つ職員として出来るように、今よりさらに取り組んでいきたい。

## グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に見えられた時に深く立ち入りながらも(プライベートな事なので慎重に)何か困っていることはないか、悩まれていることはないかなど必ず別室にて話を聞き実施している。		支援してのではなく、共有の立場で本人を支える仲間として認識をし取り組んでいる。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	互いの尊重・互いに感謝出来るような場所作り、雰囲気づくりが出来よう努力し実施している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	各入居者様の友人・知人・親類・近所の方との交流は当施設の方より、面会・お誘いなど積極的に声掛けなどを実施している。		今よりさらに、声掛けなどが出来るよう取り組んでいく。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士間では性格・年齢・人生観・価値観の相違などがあり難しいのですが、レクリエーションやドライブなど孤立しないように、関わり合えるように努力し実施している。		入居者様間のより良い関係が保持できるように、職員の気配り・対応などを今よりさらに取り組んでいく。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所や転院などされた方にも場緒を提供し施設行事に参加されるように声掛けなどし実施している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	あるがままの入居者様の生活習慣などを受け入れる取り組みをし実施している。		

## グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様やケアマネージャーなどにその方の事を良く聞き、そしてその人なりを理解しニーズに合致した支援が出来るように個別別の把握に力いれ実施している。		今以上にケアプランの見直し、立て方などを工夫し取り組んでいきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存機能や趣味・入居者様の生き方・過ごし方支援し、それがわかるようにセンター方式にして実施している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様の生活に合ったケアプラン作成をし、職員がチームとなって支援する介護計画を実施している。		今よりさらに家族様や関係者の方と話し合いを持ち良い介護計画が作成出来るように取り組んでいく。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画変更時や特変時には、家族様・必要な関係者を施設に来てもらい話し合いをしながら実施している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を利用・活用しながら個別ケアの充実を計画し介護計画に生かし実施している。		情報・共有・記録の中より今よりさらに支援計画材料になるよう取り組んでいく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	場面に応じた必要な支援を行い、施設内の多機能性を生かした支援を実施している。		

## グループホーム やまだ松の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要性に応じて色々な方と交流をもつことを実施している。		協力機関との必要性を今以上に認識をし、今よりさらに支援することに取り組んでいく。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の事業者会議や勉強会で利用できるサービスの提供は出来るだけ行い実施していけるようにしている。		今よりさらに、必要性に応じたサービスが出来るように取り組んでいく。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	情報の共有や各支援センターとの協力を得ながら支援サービスを行って実施している。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	何事も入居者様・家族様と話し合い、施設側の持つ提携病院や訪問診療医様との不安を取り除く事をしながら、適切な医療を受けられるように実施している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医の受診治療が出来るように提携病院を提供し支援実施している。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	自施設の看護師、提携病院の看護師と係をとり何事も気軽に相談が出来るようにして実施している。		



## グループホーム やまだ松の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	看護師が、医療機関と随時連絡を取り、状態確認、情報交換や相談に努めている。		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	利用者の心身状態の変化を報告する際に、本人や家族の希望を確認し、主治医等に相談しながらミーティングに於いて方針を決めている。		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	主治医等に相談しながら、対応出来ること・出来ないことを明確にし、本人や家族の希望に沿った支援が行えるように取り組んでいる。		重度化に対応出来るよう、安全かつ使いやすい設備や工夫を検討していきたい。
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	ケア関係者間で情報交換を行い、出来るだけこれまでの居室環境や生活パターンを変えることなく、本人が安心して過ごせるように支援している。		
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	さりげない介助や、丁寧な言葉かけ等常に気配りを忘れないように心がけているが、時折配慮に欠けた対応も見受けられることがある。		職員の接遇についての学習会を定期的実施していく。

## グループホーム やまだ絵の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入浴の着替え準備を支援したり、食事メニュー・飲み物の希望等を尋ねて取り入れるようにしている。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り利用者のペースに合わせ、臨機応変に対応するよう心がけている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望に添うよう、こだわり等を取り入れながら、身だしなみやおしゃれを支援している。希望の美容院があれば、出来る限り対応するようにしている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物、皮むきや切り込み等の調理など出来る方は一緒に行っている。又、好みを把握しメニューや調理に活かしている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	希望があれば、一人一人の状況に合わせて量などを調節しながら、楽しめるよう支援している。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排尿・排便チェックを付けて、タイミング良いトイレ誘導を行うようにしている。下着・紙パンツ・パット等は利用者一人一人のその時々々の状態に合わせて使い分けしている。		

グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間帯を決めて実施しているが、希望があれば出来る範囲で実施している。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、軽作業や軽い運動を促し、生活リズムを整えることが出来るよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが、家事活動などの役割や、趣味やレクリエーションなど楽しみを持ちながら、活気ある生活を送れるよう支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持ちたいと希望される方には、あまり高額にならない範囲で自己管理して頂き、収支の確認などを支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望があれば出来る範囲で、買い物・銀行行き・散歩等の外出を支援している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月に一度は施設の行事として外出などを行っている。		

## グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある方は、事務所の電話の使用を介助している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間などを設けず、いつでも面会出来るようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	人員の応援を要請したり、常に見守りが出来る体制を整え、対応するようにしている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者に心理的圧迫感を感じさせないよう配慮しながら見守りを行っているが、外出の察知など状況に応じて施錠を行っている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	食堂にて記録や調理をしながら入居者の見守りをしている。夜間は巡視を行い様子を確認している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に応じて、必要があれば保管場所を決めて施錠を行う等の管理を行っている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態に応じた事故防止対策をミーティングなどで話し合い、周知徹底するようにしている。		

グループホーム やまだ桜の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的ではないが、ミーティングの場で緊急時対応マニュアルに沿って対応の訓練を行っている。		訓練を定期的に行っていく。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を実施し、全ての職員が誘導方法等熟知するようにしている。		地域の人々の協力を得られるよう働きかけを行う。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて家族に説明し、安全で抑圧感のない暮らしが送られるようセンサー設置などの対応策を検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタル測定時などに体調を確認し、変化に気付いた際は看護師に報告し対応している。又変化や指示などを記録に残している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用、用法や用量を理解し、医師の指示通り服薬出来るよう管理徹底している。又状況の変化を確認し、看護師に報告し対応している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便のリズムを把握している。食事に便通を良くする食材を取り入れたり、体操や軽い運動等を行っている。		

グループホーム やまだ松の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内の清潔保持が困難な方は職員が介助を行っている。		口腔内の清潔が保持出来る方も困難な方も声かけを行い口腔内の少しの変化も見逃さず、すぐに対応出来る体制をつくる。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	塩分・糖分等を摂り過ぎないように注意し、摂取量も出来るだけ利用者の希望を聞き、バランス良く摂取出来るように行っている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルがあり実行している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所・調理用具等の衛生管理を実施しており消毒等、こまめに行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	訪問者が親しみやすく出入り出来るようにこまめに掃除を行い、花壇等を置くなど、清潔感漂う空間をつくれるように行っている。		清潔感だけでなく明るい雰囲気を出せるように取り組んでいる。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を感じやすいように窓も大きく明るく開放的な造りになっている。物品、装飾も家庭的で温かく、明るさが感じられるように工夫している。		施設内にも季節感を出せるように季節に合わせて装飾等を工夫している。

グループホーム やまだ松の郷

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の際は場所も決めているが、それ以外は皆さん好きな場所で思い思いに過ごされている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	基本的に居室の環境作りはご本人・ご家族の方に任せている。本人希望の際は、職員と一緒に買い物に出かけ購入される。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	入居者の見守り可能な範囲内で定期的に換気を行い、温度調節は入居者の希望を取り入れながら外気温と大きく差が出ない程度に温度調節を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	食堂・廊下・トイレ等に手すりを設置しているが、身体機能の低下が著しい方への対応は充分ではないとおもわれる。		入居者の意見も取り入れながら、安全で使いやすい設備が整うように工夫していく。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗があった時は直ちに要因となるものを分析し、即対応していく。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭で散歩や、花の水やりを行ったり掃除や、洗濯物干しなどの活動も行っている。		

グループホーム やまだ桜の郷

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



## グループホーム やまだ桜の郷

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)